

東京女子医科大学 東医療センター 春期インターンシップ体験者の感想



皆さんこんにちは

東京女子医科大学の採用担当です。

2021年卒の方を対象にしたインターンシップ・病院見学会や合同就職説明会などが中止となっている中で、皆さんが必要としている情報を知るために何か発信できないかと考えました。

女子医大では、インターンシップ参加者に対して開始前後にアンケートと感想を記入してもらっています。それらを今回集計し、皆さんに発信することで、体験できなかったインターンシップでの様子を少しでも想像してもらえたらと考えています。

集計された感想は、記載されていた表現をそのまま記載させて頂きました。個々の価値観で観察していますが、「短時間の中で凄い観察力だな」と感動しました。これを読んでくださっている皆さん一人一人が、大切な将来を考える一助となれば幸いです。

東京女子医科大学 東医療センターの インターンシップ参加者に対する アンケート集計結果

アンケートについて

2020年1月～3月3日の春期インターンシップ(東医療センター)に参加した41名の方のアンケートを集計しました。

インターンシップで知りたいことについて選択式アンケートをとった結果をこのページでまとめます。

自由記述式で得られた各病棟での体験・感想は2ページ目以降にまとめますのでご覧ください。

インターンシップで 知りたいことの集計結果

- 1位 新人教育制度 93%
- 2位 職場の雰囲気 93%
- 3位 施設的环境 49%

インターンシップ後の感想結果

インターンシップ後、自由記述で感想を書いていただき、得られた内容をまとめました。

- 職場の雰囲気 40名/41名中
- 教育制度 11名/41名
- 施設的环境 0名/41名

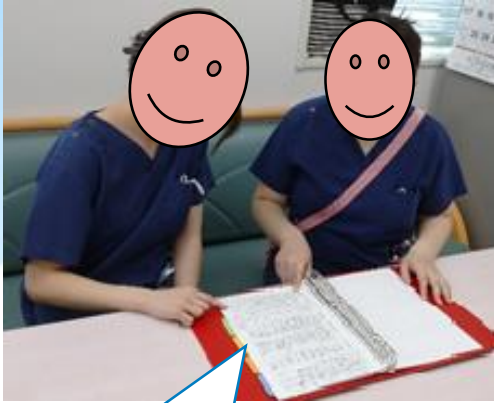
職場の雰囲気	40名/41名中(重複回答あり)	回答数
相談しやすく話し合える		11名
患者への声掛けが多い		10名
聞きやすい		8名
支援体制があると感じた		6名
明るい		6名
優しい		4名
アットホーム		2名

教育体制	回答者数 11名/41名中
手術室	その場で医師に確認しながら
ICU	新人教育パスがあり段階的な教育
外科系・内科系	先輩看護師のフォロー
産科	キャリアアップが考えられている
小児	解るまで先輩看護師が優しく教えていた
救命関連	お互いに声掛け合い学べる環境





電子カルテで患者さんの感染データを確認します
感染があれば別器具をしようします



新人看護師がプリセプターから指導を受ける様子です
理解が深まるようマニュアルを見ながら説明を受けています

新人教育

入職した時からフォローする体制あることが知れ安心しました。

看護の様子

患者に安心するような声掛けや、転落がないように側を離れないなど患者が安全に手術が行われるような関わりをしていた

医師や麻酔科との連携して対応している

色々な器具を見せて頂、医師からは取った腫瘍を見せてもらい実習では体験のできないことが知れました

器械を準備しています

手術室の様子です



手術室の雰囲気

明るく話しかけ職場の雰囲気が良いと感じた

非常に忙しい所であったが、分かりやすく丁寧に教えてくれアットホームで楽しく過ごしている様子だった

気軽に話しかけてくださり楽しかった

忙しいながらも声掛けあって楽しそうに仕事をしていたのを見ていいなと感じました。

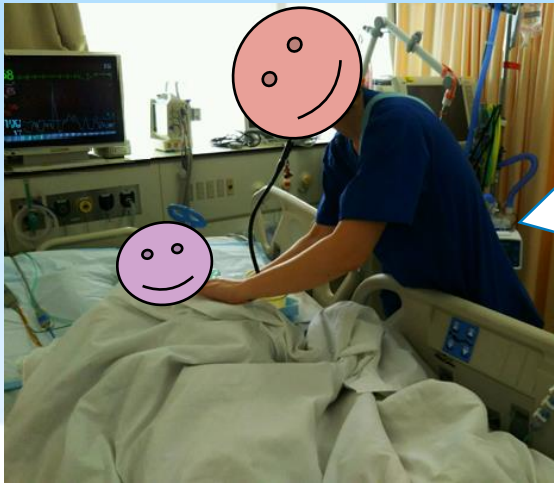
手術室のインターンシップに参加して
なにかあったこと感じたことは
ありますか？

手術室は8室を有し、ロボット手術や腎移植手術など最先端手術に対応しています。
手術件数は年間約5,000件（2019年度）です。

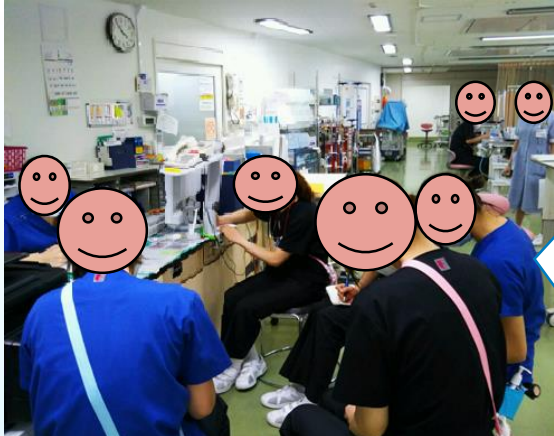
今年はたくさんの方が入職し、新人看護師たちは先輩たちからマニュアルを用いて、いろいろなアドバイスをもらっています。

手術室看護師は患者の個別性を尊重し、専門性の高い知識や技術に基づいた術中の安全・安心・安楽な手術看護が提供できるよう、先輩・同期と力を合わせて日々取り組んでいます。

採用担当より

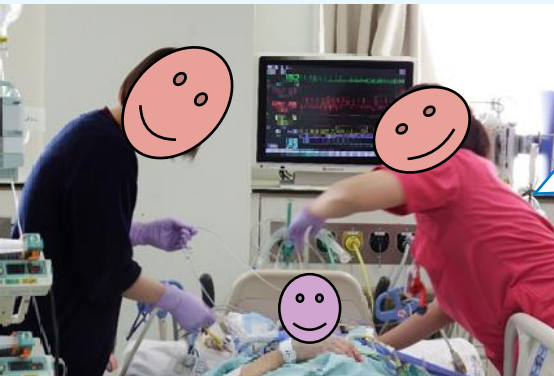


患者さんの観察をしながら、直接聴診器をあてて、肺雑音を確認しています



患者さんのケースカンファレンスの様子です

個別性ある看護を実施するため、それぞれの患者さんについて共有します



色々な機器を装着していますので、体位変化の時も安全を守りながら行います

看護の様子

入退室の場面を見ることが出来た、全身管理をしているのも個性を持ってやっていますすごいと思った。

受け持ち以外の患者の情報も共有し、ADLを拡大した患者の関わりを皆で看護しているところを見てチームワークのある雰囲気を感じました。

術後患者の流れや「小児の管理、意思疎通がスムーズにできない患者の小さな表情や動きから気持ちを読み取り患者さんの負担が最小限になるような関わりをスタッフで協力しながら行っていた。

術後の急性期や重症状態の様々な疾患、幅広い年齢層を対象にしているとしれ多くのことが学べる場所だと実感しました。

雰囲気

看護師同士が楽しい雰囲気でした。話しかけやすかった。分からないことをたくさん質問したくさん教えて貰いました。

全員笑顔で気さくに話しかけてくれて人のよさそうということが伝わりました。

新人教育

先輩看護師が気にかけて声をかけていて、何かあればフォローする体制があってとても良いと感じた。

新人教育パスがあり段階を踏んで実践していく制度がある。

ICUの
インターンシップに参加して
分かったこと・感じたことは
なんですか？

ICUは、生後数日から老年期まで男女問わず、重篤な状態に陥った患者さんに対して幅広く看護をしていることが大きな特徴です。ロボット手術や腎移植手術など、急性期の術後管理をするため専門的知識・的確な観察力・高度な技術で看護を提供できるよう邁進しています。

一般病床の多職種カンファレンスに参加し、ICU入室中から医師・病棟看護師と情報共有を行い、1日も早く元の生活に戻れるよう関わっています。

2021年の新病院になるにあたり、今後益々地域のために高度な医療を担っていくようになります。医療が必要な患者に対して、人とのふれあいを大切にしながらあたたかな看護の提供を目指しています。



採用担当より



病棟の雰囲気

忙しいなか、皆さん暖かく患者さん一人一人に丁寧に関わっているのが印象的でした。

スタッフ同士が和やかで、非常に働きやすい雰囲気を感しました。

産科と婦人科の混合病棟でお互いの患者さんが交わらないような工夫をしていた。女性の一生を支援するという部分では幅広い知識要求されるが環境は整っていると思いました。

看護師の一日の流れを知りました。忙しいなかでも患者さんの要望を聞き、すごいなと思いました。

和気あいあいと楽しそうでした。楽しく過ごせました。

乳房手術を受けた患者さんへの退院指導の様子です



採用担当より

新人教育

キャリアアップの体制やワークライフバランスへの理解も得られやすいと感じました。

看護の特徴

質問しやすい雰囲気、痛みに対しての声かけや不安を抱えた妊婦への和らげる関わりが明るく雰囲気が良かった。

妊婦へ不安を和らげる関わり、痛みの緩和、外国人もいることから幅広い分野の患者がいることを知った。

産婦人科のインターンシップに参加して分かったこと感じたことはなんですか？

女性の一生をケアするウィメンズヘルス病棟です。産科チームでは地域周産期センターとして、ハイリスクの妊婦さんや早産への対応にNICUと協働して努めています。

東医療センター産科に関しては、東京女子医科大学の3施設のうち、分娩をたくさん取りたいという方が多く入職しているように感じます。3施設間で助産師の交流も盛んに行っているため、例えば本院にローテーションをしてハイリスクを学ぶなど、職員にはそれぞれのキャリアプランがあります。この交流は女子医大の強みです。2021年移転後、地域周産期センターから総合周産期センターになる予定ですので、MFICUも力を入れ、ハイリスクにも対応力を備えてまいります。

また、正期産の出産育児も、患者さまの希望に沿ったケアをしています。婦人科・乳腺診療部チームでは女性特有の疾患の患者さんに、周手術期には、不安や痛みの解消に努め、自律に向けてケアやサポートをし、抗がん剤治療を受ける患者さんも多いため、つらさや体調の変化に寄り添いながら優しく見守り励まし助けていきます。その人らしく療養生活が送れるよう、産科チームも婦人科・乳腺診療部チームも患者さんと一緒に考え支えていきます。



泣いているときはもちろん必ず近くに行って様子を観察します

ミルクをあげています誤嚥しないようにベッドから抱きかかえています



看護の様子

呼吸器を強みとして、多くの新生児が呼吸器をつけていた。保護者の方と接している様子を見た。

患儿と家族のふれあい、児の今までの経過を聞き、児の頑張り度を感じ取ることが出来改めてこの領域で学びたいと思いました。

長く入院している患者の御両親が出来る事を考え、沐浴を御両親と一緒にされている場面を見て感動した。

母乳が出なくて焦っているお母さんへ優しくサポートしてお母さんが安心していく姿が印象的で、助産師が心の支えになっていると改めて感じました。

面会に来る回数が少ない家族へ赤ちゃんの様子を伝えることが大切だと学びました。

病棟の雰囲気

看護師さんが丁寧に教えてくださり貴院の雰囲気を感じ取ることが出来ました。

どの看護師さんも優しく声をかけて頂きました。

NICUは呼吸器に特化した疾患が多いです。ここでしか診られない病態も多く、ファイバー・気管支鏡・レーザーなどを使った治療や、他施設で診断を付けられなかった疾患を持つ患儿が訪れ、診断をつけることもあります。全国各地からの患儿を受け入れている病棟です。長期入院をしている患儿もいる中で、退院後の生活を見据えた家族指導や社会支援を使った退院調整をしています。

地域に信頼されるNICU/GCUを目指しています。

※春期のインターンシップ体験者がいなくなり、2019年6月〜12月のインターンシップ体験者がないため、抽出しました

NICU・GCUのインターンシップに参加して分かったこと感じたことはなんですか？





新人教育

1年目に優しくわかるまで教えていた。

1年目の看護師と先輩看護師が相談しやすい環境でとても良いなと感じました。

看護の特徴

小児の発達段階の様々を見た。看護師の関わりで発達段階を伸ばしていると感じた。

成人とは違う病棟の構造や特徴が分かり、小児看護に対する興味がわいた。

主任が何でも言い合えるチームづくりに取り組んでいた、1年生が実際に自分の考えを相談していた、小児の発達段階の様々を見た。関わりで発達段階を進めるのを見て自分もそうなりたと思った。

職場の雰囲気

コミュニケーションでの雰囲気が良いと感じた。

前は本院で、夏休み期間で入院患者さんが多くバタバタしていた。今回はのんびりとした中で患児と話することが出来、小児のほほに触ったときニコッとしてもらいとてもかわいかった印象が残った。

看護師同士の仲が良く和気あいあいと相談しやすい関係・環境であり良いなと思った。

看護師さんは親切にしてくださって緊張感もほどけました。

1年目の看護師にわかりやすく説明をしていた。休憩中も話しかけてくださり嬉しかった。

小児科のインターンシップに参加して分かったこと感じたことはなんですか？

呼吸器疾患が多いので在宅で呼吸器をつけた状態での看護の指導に力を入れています。入院したことを前向きに受け止められるように、児の成長や頑張ったことを認め伝えています。

子どもとご家族が安心して入院生活を送ることができるよう寄り添うことを大事にしています。ご家族の子育ての相談・支援もチームで取り組んでいます。

そして退院後も安心してご家庭で過ごせるよう多職種と連携し、在宅に向けた支援に力を入れています。また、入院している子どもたちが治療を前向きに受けられるよう保育士と協力したり、季節感を感じられるように、夏祭りやクリスマス会なども企画しています。



採用担当より

外科病棟のインターンシップに参加して分かったこと感じたことはなんですか？

- 東3A病棟：泌尿器科・眼科・内科
- 東3B病棟：整形外科・耳鼻科・救急医療科
- 東4A病棟：手術前後・化学療法
- 東4B病棟：脳神経外科・皮膚科
- 東5A病棟：心臓血管外科・呼吸器外科・形成外科

職場の雰囲気

患者さんへの声掛けを頻繁に行っていた、患者さんからも声掛けやすい環境になっていて患者さんと向き合って看護が出来そうな環境と思った(東5Aを体験した方)

コミュニケーションが多く雰囲気が良いと感じた(東4Aを体験した方)

1年目の看護師も業務を率先して行っていた先輩看護師も声掛け合い良い関係で、外来に来た患者さんが挨拶に来ていたのを見て患者さんからの信頼関係が良いと感じた(東4Aを体験した方)

一人で業務を抱えていると、他の看護師が気づき業務を分担してくれいいなと思った。休憩中はふざけあったりしていいなと思った(東4Aを体験した方)

新人へプリセプターが電子カルテを見ながら受け持ち患者の注意や観察すべきことなど指導をしています

患者さんは車いすに座って食事をしています。車いすでの移動後なので、ポンプの装着状況など異常がないか指差し点検をしています



看護の特徴

整形外科病棟では慢性的な疾患の点滴治療を続けている患者との関わりをみて、疾患と生活を共にしている患者と継続看護をしていること、地域で暮らしている患者と繋がりを大切にしている特徴を知りました。(東3Bを体験した方)

脳外科で意識障害があることから看護師の観察や記録が大切と分かった(東4Bを体験した方)

外科であることから術前後のICUとの調整、処置の目的を聞き将来の看護師としてのイメージがわくようになった(東4Bを体験した方)

新人教育

新人へわからないことや不安なことを声掛けあい話しやすいと感じた(東5A病棟を体験した方)

1年目の看護師も業務を率先して行えるような声掛けをしていた(東4Aを体験した方)

心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科の各科の特徴を踏まえ、急性期看護から回復期・ターミナル期の看護を行っています。

幅広い看護が必要なため、勉強会も盛んです。スタッフ一人一人がお互いを支え合い、学び成長し、安全・安心・安楽な看護が提供できる病棟を目指しています。



看護の様子

患者さん一人一人に、ゆっくり丁寧に関わっていた。

CVライン挿入の介助や心不全患者の除細動の様子をみました、ついている看護師さんがてきぱきとして動いている姿を見ることが出来非常に勉強になりました。

医師の指示が分からないとき、しっかり確認をしていることも、豊富な知識だからできるんだと思いました。

手術前後や化学療法、終末期の患者さんに対して、安心・安楽な看護提供するために医師・薬剤師・栄養士・MSWと定期的にカンファレンスを行い患者さんの個別に合わせたゴールの共有、退院支援を行っています。



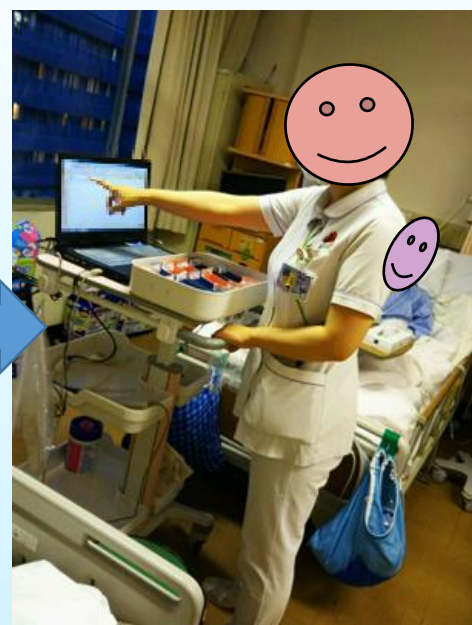
採用担当より

新人教育

日々の業務は先輩がフォローしてくれている様子だった

丁寧に質問しやすい雰囲気だった

配薬をするときは、まず部屋の前で確認します
次に直接患者さんの前で電子カルテを見ながら確認し、安全を保っています



職場の雰囲気

明るく看護師さん同士は勿論、医師、ヘルパーとコミュニケーションを取りながら明るいと感じた

優しくいろいろ教えて頂き、とても楽しい現場で体験させていただきました

最初は緊張していたが看護師さんが優しく丁寧に教えてくださりこのような職場に就職したいと思いました

最初は緊張していたが、看護師さんが優しく丁寧に教えてくださり、このような職場に就職したいと思いました

とても優しく、多職種とのコミュニケーションもよく取れ、病棟の雰囲気がよくやりたい看護が実践できる場と感じて楽しい一日だった

内科病棟の
インターンシップに参加して
分かったこと感じたことはなんですか？

看護の特徴

初療室でPCPSを回す患者を診た。お互いに今何をしているか、何を手伝ってほしいか声を出し協力し最善の医療を提供していた

初療室から患者の生活を知り社会復帰に向けた看護を考えている。最前線の処置をして居る所と考えてきたが手浴や洗髪、リハビリを行っており一般病棟に移った時の連携を考えている

急変がある中で、バイタルの測定や患者さんへの声掛け、家族への関わりが丁寧である様子を見れました。

しゃべれない患者への声掛け、面会時の家族への情報提供や家族の話を聞いたり、一人一人の表情を見て安心を考えた看護を行っている。命を助けたいと感じ自分もそうなりたと思った。

病棟の雰囲気

忙しそうでしたが、優しく、質問ができました。雰囲気が良かった

多職種との連携がとても多くおこなわれており、みんなで話し合い、教えあうという雰囲気が良かった

患者家族への声かけている姿がとてもすてきだと思った

スタッフ間がフレンドリーで働き続けられると思った

新人教育

わからなくなった時すぐに先輩に聞くことが出来ると安心した

忙しくても先輩看護師が、1年目の看護師へアドバイスをしていた



救命ICUのインターンシップに参加して分かったこと感じたことはなんですか？

東医療センターは荒川区・足立区・葛飾区で唯一の3次救急指定病院です。2018年度は年間約1,800件の救急患者を受け入れており、これは日本でトップレベルの件数です。同地域には大学病院が少ないことから、この地域にとって重要な役割を担っています。

私たちは救急搬送患者や重症患者の“大切な命”と向き合い、医療チーム連携で『患者に寄り添う看護』『患者中心のあたたかい看護』をモットーに日々看護実践に取り組んでいます。



採用担当より